

各地の取り組みを紹介します。

【墨田区職労 保育園支部】

## 今年もメーデーに新人が多数参加！

墨田区職労は、各職場の協力を得ながら、新人職員を対象にメーデーに参加を呼びかけています。保育園の新人職員は、昨年度8人、今年度5人と少なめですが、その新人職員たちが横断幕を持って行進します。デモ行進終了後は交流会を開き親睦を深めています。

また、6月に保育園支部の職員交流会を毎年開催しています。

各園で食事、飲み物を用意し、組合役員企画のゲーム、クイズなどで楽しみながら交流します。そんな中、一つのコーナーに新人保育士の出し物の時間があります。昨年は“ダンシングヒーロー”をバブリーな容姿で踊ってくれました。研修後に練習を重ね、絆が深まっていったようです。新人職員の所属園の先輩保育士たちはアイドルを応援するかのようにな名前を書いたうちわやクラッカー、黄色い声で目一杯応援をしています。

今年度もメーデーの日に新人職員に依頼をしました。すでに先輩から話を聞いていた職員がいて伝統になりつつある嬉しさを感じました。

### 《新人職員から寄せられたメーデーの感想》

☆メーデーがどういうものなのか初めて知ることができました。就労8時間、睡眠8時間、自由時間8時間が当たり前の世界になるように、働くものが団結し、デモを起こす必要性を感じました。

☆働きやすい世の中になるようにメーデーの活動を今後も行っていくことが大切だと思いました。そして公立保育園がずっと存続できるようにメーデーを大切にしていきたいと思います。

☆メーデーは、2回目の参加です。昨年はこういうデモ行進に自分が参加する日が来たんだなあ…と思いながら歩いていました。しかし、今回も参加して、声をあげないと声は伝わらないことを再認識しました。

『命を預かる仕事』だからこそ、人数も休みもしっかり必要であること。また、責任に見合った給料を。ということを知ってほしいを改めて思いました。



【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください。】

【世田谷区職労保育園分会】

## 「2019 せたがや区長候補・区議候補に保育のことを聞いてみよう」企画

### 区政と保育現場はつながっている

世田谷には、公的保育・福祉を守る世田谷実行委員会という、区立と私立、保育室の職員と保護者でつくる団体があります。毎月の会議で「さて、次は何をしようか？」と話し合いながら活動しています。

#### ◎ そういえば、選挙があるね

昨年末の会議で、区議会宛ての署名の結果を「お疲れさまでしたね～」などと話していたのですが、ふと「そういえば、選挙があるね」「区長候補の保育政策とか知りたいね」とつぶやいたのは私立園の職員。思わず全員で、「選挙って4月だよね・・・これから年度末・・・だよね」と顔を見合わせました。しかし、一度思いついてしまったものを無かったことにできないのが、公的・世田谷メンバーです。

#### ◎ 区長候補に聞いてみた

急いで会場を押さえ、区長候補お二人に参加のお願いをしました。保坂展人区長は即「出席します」の返事。自民党推薦の三井美穂子候補は随分と検討してくれましたが参加できずとのことで、事前に質問内容に答えてもらい、当日は代読することにしました。そして会場が狭いので、イベントの様子を映像に撮り Youtube で拡散することにしました。

当日は、職員と保護者からフロア質問もあり、保坂区長が一つひとつ丁寧に応えてくれました。区立保育園の保護者からは、「通っている園がもうすぐ統合されてしまう。出身園が無くなってしまうと、卒園後の心の支えがなくなってしまう」「区立園を残すことはもちろん、増やしてほしい」との発言があり、区長からは「施設が老朽化する中、区立の職員は心意気で保育してくれている」「他区の首長からは、区立はどんどん民営化すればいいのと言われるが、自分はそうは思っていない」との返答がありました。

少し時間が押すほどの盛り上がりでしたので、三井候補にも参加してもらいお二人そろっていたら更に内容の濃いものになっただろうと残念さが増しました。

#### ◎ 区議候補にも聞いてみよう

区長候補に答えてもらった質問は5つ。この5つを、区議候補にもぶつけてみようとなりました。区内の保育や子育ての課題について考えると、どうしても区議会に向けた運動が必要になります。しかし、その区議会がなかなか保育現場の実情を理解してくれません。区議さんが保育のことをどう考えているのかが、保育現場の今に直結しているのです。区議候補は、6会派・12人の方から回答があり、回答は、文章なのでフェイスブックに載せることにしました。

#### ◎ これからも保育政策に注目していこう

区長選挙、区議会議員選挙が終わり、区長は保坂展人さんが3期目再選となりました。これまで保育の質を担保しながら待機児童解消策を進めてきたこと。そして、区立保育園を一定守ってきてくれたことを考えると、保坂区政が支持されたことに安堵感があります。しかし、区の保育施策は常に区議会の動向と繋がっています。区立保育園の拠点園化も新たな動きがあると予想されます。職員と保護者からの区長と区議会へのアプローチは、今後更に重要になってくると考えます。

今回の企画で作成したツイッターとフェイスブックは、『世田谷ほいくを考える会』という名称で継続することにしました。これからも、地域と力を合わせた運動をつくっていきたいと思います。